



# 国民春闘共闘

第42号

2017年8月9日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

## 2017 夏季一時金集計

# 単純平均 1.93 ヶ月、664,148 円 加重平均 632,291 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は8月3日、夏季一時金集計を行い、25 単産部会から報告が寄せられました。

### <回答状況>

	2017年	2016年（同期）
登録組合数	734	734
回答引き出し組合数	538 (73.3%)	558 (76.0%)
うち上積み獲得	72 (13.4%)	102 (18.3%)
うち妥結組合数	336 (62.5%)	429 (76.9%)

### <回答内容>（月数および金額）

集計方法&対象		2017年	2016年（最終）	（前年比）
単純平均	月数	1.93	1.89	+0.04
	額（円）	664,148	632,340	31,808
加重平均	額（円）	632,291	643,490	-11,199
	組合員数（人）	138,541	145,411	

\*額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

### <前年実績と比較可能な組合における回答状況（金額での比較）>

	2017年	2016年
前年との比較が可能な組合数	219	247
うち前年額以上の組合	142 (64.8%)	153 (61.9%)
（前年超）	120	139
（同 額）	22	14

### <前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	金額・月数	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	219	638,750	632,524	+6,226
	月数	417	1.92	1.90	+0.02

## ＜集計結果の概要＞

### 回答引出し・妥結状況

8月3日の集計は、別表の25単産・部会からの集計となりました。登録734組合中、538組合（交渉単位）が回答を引き出し、回答引き出し率は73.3%となりました。前年同期（2016年8月8日）比を2.7割下がっています。単産部会別にみると、検数労連、郵政ユニオン、全倉運、外銀連で引き出し率100%となっている他、全農協労連（96.8%）が9割を超え、JMITU（87.7%）、化学一般労連（87.5%）で9割近い引き出し率となっています。

春闘期での一時金交渉組合も含め、数次にわたる上積み回答を引き出した組合は、回答引き出し組合の13.4%にあたる72組合となっています。最高次数は、民放労連の組合で9次回答となっています。その他、6次回答を引き出した組合が2組合、5次回答が2組合となっています。

### 全体の回答内容

月数回答のあった498組合での単純平均月数（一組合あたり平均）は1.93ヶ月で、前年実績を0.04ヶ月上回りました。約6割に当たる245組合が2か月以上の一時金を獲得しており、その内35組合が3ヶ月以上を獲得しています。最高月数は出版労連の2組合で5ヶ月となっています。単産・部会別の平均支給月数では、全証労協で3.36ヶ月、外銀連で3.40ヶ月となったほか、民放労連、映演労連、JMITU 通信産業本部などが続いています。規模別では、30人未満の組合で平均2.13ヶ月、100~299人の組合で平均1.95ヶ月と奮闘が目立っています。

金額回答のあった276組合での単純平均額は、66万4,148円となり、前年実績比で31,808円増となっています。単産・部会別でみると、建交労建設、民放労連、出版労連、日本医労連などで前年同期を上回っています。規模別でみると、30人未満で約30,000円、30~99人で約40,000円、100人~299人で約9,000円前年実績を上回っており、小規模・中小組合での奮闘が目立つ結果となっています。一方で1000人以上の大規模組合で前年実績を下回っています。その結果、加重平均額（組合員一人あたり平均）は63万2,291円で、前年実績を11,199円下回りました。そうした中でも、29組合が100万円以上の一時金を引き出し、そのうち3組合が200万円以上の一時金を引き出し、最高額は出版労連の組合で、2,532,415円となっています。

### 非正規で働くなかまの一時金回答状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の夏季一時金獲得は、日本医労連の85組合をはじめ、生協労連（63組合）、全労連・全国一般（29組合）、全農協労連（16組合）、JMITU（9組合）、出版労連（8組合）、建交労、全印総連（各6組合）、金融労連（4組合）、JMITU 通信・郵政ユニオン（各1組合）の計11単産228組合で378件の成果獲得となっています。前年同期（2016年8月8日）の10単産211組合321件を17組合57件上回っています。

このうち、パートやアルバイト（再雇用・継続雇用で働く仲間を除く）などを中心とした時給制で働く仲間の一時金獲得は、生協労連（86件）、日本医労連（85件）など10単産で235件となりました。月数回答報告のあった161件での単純平均は0.728ヶ月で、前年同期（137件平均0.753ヶ月）を0.025ヶ月下回っています。金額では82件平均42,716円で、前年同期（48件平均58,547円）と比べ、金額での引き出し組合数が伸びていますが、金額では実績比減となっています。一方

で、前年実績比較可能な組合をみると、前年実績比 0.006 ヲ月・2496 円上回っていて、回答水準はほぼ前年並みとなっています。

日給制では建交労で、2 組合単純平均で 2.075 ヲ月、275,134 円の回答を引き出しています。

月給制（臨時・準職員・契約社員など）で働く仲間の一時金は、生協労連（59 件）、全労連・全国一般（26 件）、全農協労連（20 件）など 7 単産で 117 件の成果を獲得しています。月数回答報告のあった 94 件での単純平均は 1.097 ヲ月で、前年同期（82 件平均 1.009 ヲ月）を 0.088 ヲ月上回っています。金額回答報告のあった 41 件での単純平均は 144,769 円と前年同期を 6,651 円上回りました。同一組合での前年実績比をみると 0.048 ヲ月・6,687 円増となっています。

また、再雇用・継続雇用で働く仲間の一時金は、時給制で 17 件、月給制で 7 件の計 25 件の成果獲得となっています。

時給制では月数報告のあった 10 組合の単純平均で 0.889 ヲ月となり、金額報告のあった 10 組合の平均で 39,228 円となっています。月給制では、全印総連・金融労連などで単純平均で 0.9 ヲ月（3 件平均）・50,500 円（4 件平均）となっています。

## <参考> 他団体の夏季一時金集計結果

●連合の夏季一時金（7/5 集計）は以下のとおりです。

金額（円）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2017 年	前年実績	2017 年	前年実績
2,093	100.7	676,710	752,489	506,669	519,478

月数（ヶ月）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2017 年	昨年実績	2017 年	前年実績
2,971	193.4	2.37	2.44	2.08	2.11

\*前年実績は前年同時期実績

●日本経団連の夏季一時金妥結集計（大手企業＝8/2 現在・最終）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業	加重平均額		単純平均額	
		2017 年	前年実績	2017 年	昨年実績
大手企業	150 社	878,172	905,165	779,029	769,194